

学校だより

姫小通信

妙高市立姫川原小学校

第8号

平成24年12月14日

電話 72-2409

メール himegawa@ac.city.myoko.niigata.jp HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>



つながる 広がる 「みどりの教室」

みどりの教室と銘打ち、野菜作りを核とした「そら学年」の二年生が、「そらおでんや」を開店した。百五枚のおでん引換券が交換され、大盛況のうちに子どもたちにとって大満足の活動が繰り広げられた。

秋野菜の大根の収穫期。当初クラスだけで「おでんパーティー」をしようとしていた。同じおでんでも外に働きかけるおでん屋を開きなさい。価値ある体験を子どもたちに！との至上命令を、担任と子どもたちは必死に取り組んだ。活動を仕組むことによる想像以上の成果に、担任が一番学んだかもしれない。

その中の作戦を紹介しよう。

どうしたらお客さんに来てもらえるか。まず、彼らは大好きなおでんの具アンケートをとった。次に宣伝活動。近隣の軒一軒に広告とおでん引換券を配付。大所のコミセンの生き生きクラブを訪ねたり、おでんを販売しているセブンを訪ねたりするのも微笑ましい。具別に鍋を分け、一人三種類のセレクト。トッピング式の工夫した盛り付け。来て下さったお客様には肩もみつき。

成功の陰に、仕込みから手伝ってくださったおばあちゃんたちの存在を、子どもたちは忘れてはいない。鉛筆やドーナツの思わぬお土産にニンマリ。アンケートに書かれている言葉「春からよく頑張ったね」をかみしめる子どもたち。自分たちを見守って下さる人たちの存在を知った。

そして、道路工事が終了したと、先日のおでんのお礼に作業着姿の方が突然現れた。たかが子どもの活動。しかし、みどりの教室をつなぎ、広め、応えてくれる大人が大勢いた。

姫小サポーター感謝の集い

20名のゲストが参集！5年生のお米で作った笹寿司で会食会を開催

「ありがとう」の気持ちを

サポーターのみなさんの声より

- ・物をつくることは創造力を育てることです。
- ・お手紙をいただき、一生の思い出ができたような気がします。
- ・自分以外に大勢の方々がかかわっていたことが分かり、他の方とも会えてよかったです。
- ・60名の学校規模を生かし、素晴らしい実践が積み重ねられている素晴らしい学校だと感じました。
- ・頭だけ働く子どもではなく、頑張れる子どもたちをみんなで育てていきたいです。教育はすべて大人の努力だと思います。
- ・少しのお手伝いで感謝していただき、最高のおもてなしでした。貢献していることからすれば身に余る光栄です。

そして今回、感謝の集いを開くことで、壁面上のサポーターの皆さんが、一堂に会することができ本当によかったと思っています。子どもたちがお手紙を読んだ後に、一人一人から「姫小っ子への応援メッセージ」を直接お話し頂きました。一人一人の思いは、子どもたちへの期待から、今私たちが頑張るべきことに至るまで、小さな子どもにもジーンと伝わる素晴らしいお話ばかりでした。

どんな授業よりも代えがたいひと時を過ごすことができました。

一度きりの出会いの先生、様々な活動を通し、何度もお世話になった先生と、いろいろですが、いつ、何を学んだか、いつでも振り返ることができました。他の学年の人たちは、どんな人たちとかかわってきたのか気付くようになりました。職員の情報共有が図れました。

今年は、姫川原小学校の教育活動にご支援下さる方々を、「姫小サポーター」と名付けました。サッカーという選手を応援するサポーターのイメージから、ジャパンブルーのユニホームに似たレイアウトで、これまでの活動でお世話になった方々を廊下に掲示してきました。この掲示コーナーは校長の仕事として取り組み、子どもたちや職員、来校者に一つのメッセージとして掲げてきました。地域の方々が、みんなのことを応援してくださるそのつながりを視覚化させたかったのです。毎朝一階廊下を通る度に、増えていく喜びを実感し、あつという間にうめつくされた壁面は充実した活動を物語っています。

心温まる 応援メッセージ 姫小っ子へ

子どもたちの手紙に耳を傾けるサポーターのみなさん



検井由子様

今年も月曜日の下校の時、安全パトロールとしていただきました。おかげでほくほく学校安全に安心して下校することができました。ありがとうございます。願います。

4年 名前 田中 凛太



尾島保夫様

尾島さん、アドボカシーのあやむもは、ふたりの手ついでに、おかげで、ありがとうございます。おかげで、ほくほく学校安全に安心して下校することができました。ありがとうございます。願います。

2年 名前 坪木 はな



近藤紀一郎様

お話を作業から、純粋なまでお世話になりました。おかげで、ほくほく学校安全に安心して下校することができました。ありがとうございます。願います。



とがれせんせん

ひまぐんのびろ、おかげで、ほくほく学校安全に安心して下校することができました。ありがとうございます。願います。

1年 名前 おおはら ゆう



岡田定夫様

岡田さん、おかげで、ほくほく学校安全に安心して下校することができました。ありがとうございます。願います。

3年 名前 岡田 健太





学校の話題

誘う 音楽と物語の世界へ

12月5日に、朗読とピアノによる読み聞かせグループ「ワンダーランド」をお迎えしました。お話の展開に沿って、即興のように音楽をいれ、声色を何種類も変えながら読み進める迫力ある語りには、子どもたちは目を点にして聞き入っていました。情景が倍もイメージでき、宮沢賢治の「注文の多い料理店」では、迫り来る扉の言葉に息をのんでいました。



やぎの「ひまくん」今までいてくれてありがとう



生後まもない芝山羊を飼い始めた6月下旬から早6ヶ月。ひまわり学年の「ひま」ととった名前の「ひまくん」です。12月4日お別れをしました。

下痢で背骨や肋骨が見えるほどやせこけ、心配した時から見ると、本当に暑い夏を乗り切り、ここまで大きく元気に育ったと、みんなで喜び合いました。1年生は、ひま

君がいてくれたおかげで、学校生活が楽しくなったことや、いろいろなことができるようになったこと、また動物飼育で大変だったことなどを一人一人がひま君に向かって読み上げました。

ひま君を見送った後、山羊小屋にかけより、主のいない小屋を見つめる子どもたちの目には、涙であふれていました。

